



第6回留学生WEEK開催! 2012年6月11日~15日



日本語教育センター通信

第7号

コメンテーター

国際学部 中村海人さん

「日本語を教えたい人のための入門セミナー」での縁もあり、今回、留学生ウィークの「Cool Japan」にコメントターとして参加しました。留学生は、アメリカ、カナダ、ノルウェー、韓国など様々な国から来ていて、新幹線や桜、コスプレなど日本にあるかっこいいものを彼らの目線で紹介して、私は、私自身改めて日本には誇れるものがたくさんあるのだと実感しました。最初は少し緊張していましたが、彼らのプレゼンを楽しむことができ、また英語を使う良い機会となり、とても素晴らしい経験となりました。私たちは今見ているもの、感じていることを当たり前前に思っています、"Cool Japan" はあちこちにあるのかも知れません。みなさんも一度探してみてもどうですか?



“Cool Japan” トークショー in English/Japanese

留学生が考える「日本のカッコイイもの、こと」について、一緒に語り合いました。

コメンテーター

文学部 水谷麻衣子さん



来春から社会人として働く前に、この可能性溢れる関西学院大学で多くの経験をしたという想いから、今回の留学生ウィークにてコメントターをさせて頂きました。約21年間日本に住んでいる私でも、留学生からの情報によっても多くの発見があり、とても有意義な時間を過ごすことができました。日本で生まれ育った私にとっては当たり前のことが、留学生にとっては特別であり、海外と日本の比較を通して日本の良さを垣間見ることができました。福娘として活躍した留学生や、まるで営業マンのようにカラオケについて熱く語る留学生など、積極性や活気に満ちた学生との出会いにより、私も行動力なく、過ごしたいと強く感じました。



スピーチ発表会

日本語学習歴1年未満から数年までの学部留学生、交換留学生が、日本に関連したテーマでスピーチをしました。

発表会感想

法学部1年 李ボベさん

スピーチ発表会は、交換留学生も参加したので、幅広い経験を聞くことができた。印象に残っている発表は、「日本の辛ラーメンと韓国辛ラーメンのちがひ」のように私の出身である韓国と比較した発表である。面白い内容の発表がたくさんあった。また、交換留学生による「宝塚歌劇団」の発表を聞いて、ぜひとも観に行きたいと思った。私の寮は宝塚なので、その劇団があることは知っていたが、具体的な内容は知らなかった。「日本の美しい建物」の発表にも共感した。私も東京のお台場の建物を見て日本の建物がデザインに力を入れているのを感じていたからである。このように、日本のさまざまなことを知ることができ、とても楽しい授業であった。※掲載にあたり文章を一部加筆・修正しています。

日本語教育センター開講選択科目 日本語(読解・作文)

〈薄井 良子 日本語常勤講師〉

今年この授業の目的は、1年次の日本語Ⅱで学んだレポートを書く手順と表現をふまえ、さらに読みやすく、論理展開が明快なレポートを書くことでした。そのために、適切な接続詞使用を身につけることを目指しました。受講生4名は、新書『石黒圭「文章は接続詞で決まる」(光文社、2008)』を読み進め、接続詞の知識と運用力を深めていきました。その結果、論理展開が明快に示された問題解決型レポート(2000字程度)を無理なく書けるようになりました。もちろん、1回で完璧に書けたわけではありません。クラスメートのレポートを批判的に読むという作業を踏まえ、自分のレポートを批判的に読み直すことを積み重ねる努力が必要でした。「努力した分が確実に身に付いた。そんな手ごたえを得たい人はぜひ、この授業を受講してみてください。」



〈上〉授業風景。みんな真剣な表情。
〈下〉履修者の学部留学生と薄井良子先生(中央)

センターからの お知らせ

「日本語(読解・作文)」は春学期のみの開講です。秋学期開講の選択科目についての詳細は教学Webサービス、または日本語教育センターの掲示板をご覧ください。

KG留学生作文集が できました!

「かけはし」KG留学生作文集、2012年春学期が完成しました。「かけはし」というタイトルは、G号館前に植樹されたハナミズキの銘板のことばを用いたものです。日本・東アジア研究プログラムで日本語を学んでいる交換留学生、国際学部留学生、大学院留学生が書いた作文が掲載されており、日本語教育センターのカウンターで閲覧できます。



〈G号館前に植樹されたハナミズキの銘板〉

〈2012年度春学期版交換学生作文集〉



学部留学生必修科目 日本語Ⅲ

担当・森本 郁代 法学部教授

学部留学生の2年生の必修科目「日本語Ⅲ」の水曜日のディベートのクラスでは、今年度はじめて日本人学生のL/Aを20名採用しました。各クラスに分かれて1チームに1人ずつ参加してもらい、立論の内容や尋問・反駁の準備など、留学生と密度の高いディスカッションをしてもらった結果、今年度のクラス対抗ディベートは例年を上回るハイレベルな試合になりました。今後は日本人学生だけでなく日本語Ⅲを履修した留学生にもぜひL/Aとして参加してもらい、後輩たちにノウハウを伝授してほしいと思っています。

センターからの お知らせ

日本語教育センター秋季開講の科目でもL/Aを募集しています。詳しくは日本語教育センターのホームページ、または教員Webサービスをご覧ください。



〈留学生のディベートを聴くLAのみなさん〉

LAのコメント 文学部 岡野 麻衣子

留学生の日本語クラスで一緒に勉強させていただいた期間は、私にとっても日本や日本人を考へ直す機会となりました。ディベートやグループワークを通じて留学生たちのとても積極的な姿勢に最初は戸惑いましたが、見習うべきことがたくさんありました。私もこの経験で得たものを糧にして、日本人であることを誇りに思えるように頑張っていきたいです。



〈ディベートで意見を述べ合う留学生達。テーマは「日本の大学は秋学期入学にすべきである」〉



交換留学生対象科目 日本語学習コース（レベル5）

6月29日、「交換留学生在が日本人学生に1対1で取材する」という授業を行いました。交換留学生対象科目「日本語学習コース（レベル5）」の敬語の授業の集大成として行われたもので、呼びかけに応じていろいろな学部から10人の日本人学生が集まってくださいました。

「大学では何を専攻なさっていますか」など、習ったばかりの敬語を使って必死に取材していました。年齢の学生同志のこと、話題はどんな広がりも、留学生も日本人もどちらも笑顔の楽しい交流の場となりました。



〈上授業風景。下担当の牧野由紀子先生（前列右）と交換留学生と日本人学生〉

京都へフィールドトリップに行ってきました。 交換留学生対象科目「現代日本文化」

日本の文化の授業を見学しました。多くのところに行きました。一番に、ショッピングセンターに行きました。デパートを見ました。色々食べ物がありました。アメリカのショッピングセンターで地下はあまりありません。その後錦市場に行きました。錦市場は長い道とたくさん食べ物があります。歩きながら美味しい食べ物を見ました。それから天満宮にきました。天満宮は勉強の神社です。神社はとも面白いです。その後十三間堂に行きました。お寺はとも長いです。お寺の中に1001立像があります。その後ほかのお寺に行きました。お寺で仏法の儀式の練習がありました。とても面白いと思いました。その後お菓子の店に行きました。店でお菓子を作りました。上生菓子いろいろと上生菓子練切と上生菓子きんとんを作りました。でもお菓子は美味しかったです。京都の見学はとも面白くて楽しかったです。

交換留学生の感想
ローレス・ジョシニアさん
(テキサスA&M大学)

